

# 建設新技術・新工法・新資機材 実学講座

本講座では”新技術開発・導入““総合評価とNETIS”“進化するIT”の3つの視点からのワンポイントレッスンを交え、発表企業から新技術・新工法・新資機材に関する最新の知識・技術の習得と導入の方法他について学習します。

WEBや紙資料では得にくい新技術・新工法・新資機材の開発・導入・設計・施工の知識、総合評価の課題解決のヒント、創意工夫のアイデア等が得られます。

あわせて本講座では発表者の話を一方的に聞くだけでなく、受講者からの質問、逆提案などの双方向により、実りある学習を目指します。積極的な参加をお待ちしております。

- 【 日 時 】 平成 24 年 10 月 18 日(木) 9:45 ~ 16:55  
 【 会 場 】 大阪産業創造館 大阪市中央区本町 1-4-5  
 【 プ ロ グ ラ ム 】

時間	概 要		発表企業
9:45	はじめに 1. ワンポイントレッスン 「新技術開発、導入の視点」 2. 事例発表に先立って:話す~聞く~質問する		
	<特別試行成果発表> 官公庁、建設コンサルタント 建設企業他の技術者、関係 者が多数見学、その成果に注 目!!	『農業ため池沈澱土砂類浚渫減容・削減化試行作業』  本年9月、溜池保水能力回復を目的に4日間に渡り溜池 沈澱土砂類を攪拌・溶解・分散・洗浄し、必要最小限の汚 泥処分により、従来の工法から経費60%削減を実現。	有限会社 アクス京都
11:55 12:55	<新技術・新工法・新資機材 実践事例発表>	常識を打ち破る4.0mの新型覆工板『プレストデッキ』に より、大幅な工期短縮とコスト縮減を実現。	大商鋼材 株式会社
	3. ワンポイントレッスン「総合評価とNETIS」		
	<新技術・新工法・新資機材 実践事例発表>	表面工のプレキャスト化と安全な逆巻き施工による地山 補強土工法『PAN WALL工法』により、スピーディーに 急勾配斜面を築造。  補強効果に優れた盛土補強土壁工法『FILL WALL工 法』により、低コスト、高耐久と長寿命化を実現。  ほぼ100%無機質で構成されたコンクリート浸透性改 質材『RCガーデックス』により、コンクリートが本来持つ べき基本性能を回復させ、維持し、長寿命化を実現。  ポリウレタ樹脂を用いたコンクリート構造物のはく落防止 工法『ウォールプロテクト工法』により、低コスト、短工期 での維持補修を実現  全面粘着剤を塗布した『コンクリート保水養生テープ』 により、脱枠後のコンクリートを封緘して散水作業を無くし 剥がすまで、水中養生同等の養生状態と強度向上、ひび 割れ低減を実現。	矢作建設工業 株式会社  矢作建設工業 株式会社  日本躯体処理 株式会社  矢作建設工業 株式会社  住友スリーエム 株式会社
	4. ワンポイントレッスン「進化するITの視点」		
16:55	<IT活用実践事例発表>	ITを活用した建設現場の見える化『現場ロイド』により、 簡単・安価な使える簡易型情報化施工を実現。	エコモット 株式会社
	まとめ		



【CPD、CPDS等について】 JCM:CPDSの認定取得、6ユニットが得られます。

又建設系CPD協議会の相互認定により加盟団体(会員)のCPDが得られます。

(例 土木学会6単位、技術士会6 CPD時間、建設コンサルタンツ協会6単位)

【定員】 45名(定員になり次第締め切ります。)

【受講料】 一人 6,000円(テキスト、資料代)

【対象者】 建設新技術・新工法・新資機材の開発・導入・設計・施工に関する技術者及び関係者

【主催者・問い合わせ】 有限会社 えん総合研究所 大阪府高槻市真上町3丁目7番35号

TEL & FAX 072-682-8961(担当:長谷)メール in@en2.jp HP http://www.en2.jp

### 【進行役兼講師紹介】

今回の講座企画、発表企業の公募・調整、司会進行役及びワンポイントレッスン担当

有限会社 えん総合研究所 代表取締役 長谷 利男

建設企業の経営戦略の策定、営業力強化指導、新分野進出調査・策定、開業指導、階層別・テーマ別研修(経営幹部、管理職、現場主任、新入社員、目標管理等)やISO9001、14001等の構築指導。現在、国土交通省・建設業振興基金委託の「建設企業アドバイザー事業」の建設業経営戦略アドバイザーとしても活動中。土木学会会員、日本建築学会会員。

### 【発表企業のトップ、部門又は開発責任者の方々】

プログラムに記載されている企業のトップ、部門又は開発責任者の方々により企業の紹介、開発の背景・動機、開発での苦労・苦心、新技術・新工法・新資機材の概要、特徴、販売、価格、生産・納品体制、実績、成果、現在の課題、今後の展開などについて可能な限り情報開示・説明をして頂きます。

### 【お申込方法】

申込書にご記入の上、FAXまたはメール(申込書ファイル添付)でお申し込み下さい。

折り返し「受講申し込み受付」並びに受講料振込先をメールにて連絡します。請求書の必要な場合、通信欄にその旨ご記入下さい。

\*先着順に受付し定員を超えている場合、今後の開催予定他で調整連絡いたします。

受講料は受付後5日以内に指定金融機関にお振込み下さい。入金確認後受講券、会場案内図等を送付いたします。

もし都合により欠席される場合は前日までに連絡下さい。尚セミナーをキャンセルされても原則払い戻しは致しません。

不測事態の発生で開催を中止する場合は受講料の払い戻しを致しません。

### 【受講申込書】

F A X 0 7 2 - 6 8 2 - 8 9 6 1

講座名	建設新技術・新工法・新資機材 実学講座			(2012年10月18日)	
会社名					
所在地	〒				
申込責任者 役職・氏名	TEL		FAX		
	役職		氏名		
E-mail					
参加者氏名(ふりがな)	年齢	参加者氏名(ふりがな)	年齢		
	才		才		
	才		才		
	才		才		
通信欄					

### 【個人情報保護】

弊社では経営コンサルティング業務、社員教育、新商品・サービスに関する情報をお知らせする目的で個人情報を保有しております。頂いた個人情報はセミナー受講券の発送などに利用いたします。又今後前述の目的にも利用いたします。

